

12月19日(土) 講演 & 座談会 13:00 ~ 16:30 (開場 12:30)

筋萎縮性側索硬化症 (ALS) などの神経難病は、病気の進行とともにコミュニケーション手段の確保が重要になってきます。そこで、コミュニケーション支援について考える2日間の研修会を開催します。



ものがたり診療所 所長

佐藤伸彦 × 川口有美子

日本ALS協会理事



コミュニケーションとものがたり
--- 関係性の中に在る ---

コミュニケーションを支える制度
--- 自薦ヘルパーという方法 ---

1958年東京生まれ。富山大学薬学部、医学部卒業。
成田赤十字病院内科、麻生飯塚病院神経内科を経て、
平成14年から砺波サンシャイン病院副院長。
平成21年4月に医療法人社団ナラティブホームを立ち上げる。
平成22年4月1日「ものがたり診療所」を砺波市で開設。
平成24年は厚生労働省在宅医療連携拠点事業所として
地域医療と終末期医療をキーワードに包括チーム医療を
実践している。

1995年に母がALSに罹患。2003年に訪問介護事業所
ケアサポートモモ設立。同年、ALS患者の橋本操と
NPO法人ALS/MNDサポートセンターさくら会を設立。
2005年日本ALS協会理事就任。2009年ALS/MND
国際同盟会議理事就任。
著書「逝かない身体—ALS的日常を生きる」(医学書院)が
第41回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞した。

16:30 ~ 18:00 コミュニケーション支援 概要と様々な機器の紹介

12月20日(日) 難病コミュニケーション支援講座 10:00 ~ 16:30

透明文字盤、伝の心、レッツチャットなど実際に道具や機器を操作しながらの体験型講座です。視線入力やiPad, iPhoneのスイッチ操作などの最新の機器と情報も紹介しています。

- 10:00 文字盤やレッツ・チャット等の簡単な会話補助装置の体験
 - 11:30 コミュニケーション支援の事例紹介
 - 12:00 昼休憩 (昼食は各自持参ください)
 - 12:50 伝の心、オペレートナビ等の支援機器の体験とスイッチの適合
 - 15:00 グループワーク (視線入力、iPad・iPhoneの1スイッチ操作等)
 - 16:30 終了
- (プログラムは予告なく変更になる場合があります)

会場 富山県総合福祉会館サンシップとやま
(富山県富山市安住町5-21)

参加費無料

定員 50名 事前申し込みが必要です。

共催：NPO 法人自立生活支援センター富山
NPO 法人 ICT 救助隊

協賛：NEC CSR 社会貢献室

協力：医療法人社団ナラティブホーム
NPO 法人 ALS サポートセンターさくら会
「進行したALS患者等を含む障害者のコミュニケーション支援機器開発」班

お問合せ・お申し込み (ICT 救助隊)

FAX 03-6426-7359

e-mail: info@rescue-ict.com